

2023年度高等教育開発センターにおけるFD/SDの取組

高等教育研究開発センター(文責:齊藤 萌木)

1. 高等教育開発センターにおけるFD・SDの基本的な考え方

2023年度は、下記の方針に即して活動を行った

「高等教育開発センター」は、本学の教職員が教育活動に必要な資質能力を向上させるためのFD/SDを実施する。

本学の教職員に求められる資質能力については、下記の3項目に整理できる。

(1)3ポリシーに示された本学の教育活動のビジョンを把握している

(2)PDCAサイクルにより教育活動の継続的改善に取り組める

(3)教育実践上のニーズや社会からの要請に応じ、教育活動の改善に関する知識・技能を随時更新できる

「高等教育開発センター」では、関連諸部局と連携しながら、こうした資質能力の向上を支援するためのFD/SD活動の企画・運営・評価および学部科等への情報提供とフィードバックを行う。

(2022年度「高等教育開発センター」のFD/SD実施方針 第10回運営会議協議資料2)

2. 2023年度の全学の教育活動(正課)の概観

(1) 授業実施状況

2023年度も、対面授業/オンデマンド型授業の2つの形態を活用し授業を実施した。なお、オンデマンド授業のガイドラインは、主に上限履修者数の観点から、若干の改訂を行った。

「授業評価アンケート」の結果では、どちらの形態においても8割以上の学生が、自身の受けた授業について、主観評価で「総合的に判断して、この授業は意義のあるものである」と回答していた。また、記述式設問回答分析より、こうした学生が、授業をとおして身につけた知識・能力や学修過程での取組の振り返りに基づいて達成度を判断できていることも窺われた。以上の事実から、学生/教員の間で、授業の目標共有が進んでおり、学生の主体的な学びの姿勢が育ちつつあると言える。

他方、オンデマンド型授業では、依然として2割弱の学生が毎週の授業1回あたりの平均学修時間を1時間未満と回答するなど、学修時間が十分に確保できていない状況がある。記述式設問回答分析より、「対面に比べて学習過程での取組への手ごたえを実感しにくい傾向」「様々な複合的要因が総合的満足度に影響しやすい傾向」などが示唆される。事前—授業—事後学修のつながりを意識させる、フィードバックを充実させるなどの授業の進め方の工夫だけでなく、履修前にオンデマンド型授業受講の留意点を確認させるなど、履修の手続きとも連動した工夫が求められる可能性もある。今後も継続的に検討を重ねる必要があるのではないかと考えられる。

(2) 授業改善に対する取組

「授業リフレクションシート」や「授業見学会報告書」の提出状況より、本学教員の多くは積極的に授業改善に取り組んでいると考えられる。2022年度にやや課題のみられた「授業見学会報告書」の提出状況も、2023年度は提出要件等の変更により改善した。また、「各学部・研究科におけるFD/SDの取組状況」からは、各学部・研究科独自のFD/SDの積極的な取組の様子が明らかになった。専門的な内容から、卒業研究指導や実習指導等特定の授業に焦点化したものなど内容も様々であり、対面研修や冊子の作成、Web上での情報共有など形態も工夫されている。「授業見学会」など、全学のFD/SDを利用した取組もみられ、学部・研究科等の主導による主体的なFD/SD活動の取組が展開し始めていることが窺われる。

今後は、こうした取組の支援や成果把握など、高等教育開発センターの新たな役割についても検討を進めていくことが必要になると考えられる。さらには、定着しつつある教員個人の授業改善のPDCAサイクルと、学部・研究科主導のFD/SDの取組、全学的なFD/SDの取組を一気通貫させ、授業改善に関する課題・成果を、学生の学びの事実(事例・エビデンス)に基づいて把握し共有できる取組や仕組みを充実させていくことなど、体制の再構築を含めたより組織的な取組が次の課題となるだろう。

3. 活動報告

(1) 運営会議実施状況→[別紙1](#)

(2) 2023年度の重点的な取組

①FD/SD研修会サイトの再構築

→[第7回 高等教育開発センター運営会議 報告5](#)

②シラバスチェック確認リストの改訂

→[第6回 高等教育開発センター運営会議 協議1](#)

③授業見学会の変更

→[第10回 高等教育開発センター運営会議 報告5](#)

④授業評価アンケート実施時期の柔軟化、設問の一部改訂

→[第2回高等教育開発センター運営会議 協議1](#)

⑤各学部・研究科におけるFD/SDの取組状況の把握、学内への情報共有

→[第7回 高等教育開発センター運営会議 報告4](#)

(3)取組の詳細

①取組一覧 左列の(1)～(3)は、2の(1)～(3)に対応

項目	取組内容	
(1) 新任教員FD/SD	<ul style="list-style-type: none"> ○動画コンテンツ制作(8種類) ○懇談会の企画運営(2023年4月23日) ○2年目以降の教員との交流促進 	
(2) 【Plan】 授業設計視点の提示(シラバス執筆支援)	<ul style="list-style-type: none"> ○シラバスチェック確認リストの改訂(執筆マニュアルとの対応強化、各項目の構成要素の明示と具体例明示等) ○各学部で構築したシラバスチェック体制の運用支援 ○ルーブリック作成マニュアル改訂 ○ルーブリック活用状況の把握、学内への共有、課題検討 	
【Do→Check】 授業見学会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前期/後期の授業見学会の運営 ○授業見学サイトの充実(「授業見学の視点」動画公開等) ○参加状況の把握、報告書の集計と分析、学内への共有 	
【Check→Act】 授業評価アンケート・所感	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケート実施時期の柔軟化、設問の一部改訂 ○アンケート実施と回答状況の把握 ○結果の集計と分析、学内への共有 ○ 所感作成状況の把握 ○「学生評価委員会」における取組の評価 ○「学生と選ぶkyoritsu授業賞」選定 	
【Act→Plan】 授業リフレクションシート	<ul style="list-style-type: none"> ○設問の検討 ○運営と結果の集計、分析、学内への共有 ○結果の集計、分析、学内への共有 	
(3) 主題設定型研修 随時実施	<ul style="list-style-type: none"> ○「カリキュラム・コーディネーターの育成に関するFD研修会」(検討課題・調整中) 	
授業支援 サイト等を 活用した 常時情報 収集及び 情報提供 等	サイト整備	○FD・SD研修会サイトの再構築
	ICT活用支援	<ul style="list-style-type: none"> ○オンデマンド型授業のガイドライン改訂(上限履修者数等) ○kyonet相談会の実施 ○ 問合せ窓口での個別支援 ○教室巡回による運営支援 ○ChatGPT等の生成系AIの利用に関する取扱いについて指針提案
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ○他部局と連携したFD/SDコンテンツ作成および運営支援 ○『共立リーダーシップ』に関するFD研修会(共通教育センター/リーダーシップ教育センターとの連携2024年3月2日) ○各学部・研究科におけるFD/SDの取組状況の把握、学内への情報共有

② 参加状況→[別紙2](#)

2023年度FD活動への参加状況

学部	学科	人数	新任教員対象FD研修会 202304 ※1			授業見学会 (前期)20230612~0630 (後期)20231113~1130 ※2		前期_授業リフレクションシート 20220822~0912		後期_授業リフレクションシート 20230211~0305	
			対象者	参加者	参加率	参加者	参加率	参加者	参加率	参加者	参加率
家政学部	被服	11	1	1	100%	11	100%	11	100%	10	91%
	食物栄養	11				10	91%	10	91%	10	91%
	児童	20	1	1	100%	19	95%	20	100%	19	95%
文芸学部		35				29	83%	31	89%	26	74%
国際学部		24	2	2	100%	20	83%	21	88%	16	67%
看護学部		29	4	4	100%	28	97%	27	93%	25	86%
ビジネス学部		18				17	94%	18	100%	16	89%
建築・デザイン学部		12	2	2	100%	10	83%	10	83%	9	75%
生活科学科		7	1	1	100%	6	86%	7	100%	6	86%
文科		8	2	2	100%	7	88%	8	100%	6	75%
全学教育推進機構		3				3	100%	2	67%	3	100%
計		178	13	13	100%	160	90%	165	93%	146	82%

※1 就任前オンデマンドもしくは懇談会参加者をカウント

※2 通年で報告書3件以上の提出者を「参加者」としてカウント